

2026年4月24日
株式会社アマダ

高出力ファイバーレーザー発振器「ENSIS-26000」が 第18回(2026年)「レーザー学会産業賞 奨励賞」を受賞

高出力化とビーム品質維持を両立する独自技術が高く評価



授与式の様子



ENSIS-26000を搭載したファイバーレーザーマシン
REGIUS-3015AJe (26kW)

株式会社アマダ(神奈川県伊勢原市、代表取締役社長執行役員:山梨 貴昭)が開発した、高出力ファイバーレーザー発振器「ENSIS-26000」が、一般社団法人レーザー学会が主催する第18回(2026年)「レーザー学会産業賞」において「奨励賞」を受賞しました。これに伴い、2026年4月23日にパシフィコ横浜にて授与式が執り行われましたのでお知らせします。

レーザー学会産業賞はレーザーに関する製品・技術の開発、実用化、普及などにおいて、国内のレーザー関連産業の発展に貢献しうる優秀なものに対し授与されるものです。なかでも「奨励賞」は、市場の開拓および将来性を重視して選定されます。

「ENSIS-26000」は、ビーム品質を維持したまま最大26kWの超高出力化を実現したファイバーレーザー発振器です。新たに開発した最大15kWのシングルレーザーモジュールの高輝度な光を、独自技術「高輝度維持合波」によって空間上で重ね合わせることで、超高出力化を実現。さらに、ビーム形状を自在にコントロールする「ENSISテクノロジー」をそれぞれのレーザーモジュールに搭載し、これらを独立して制御することで、多種多様なビームプロファイルの生成が可能になりました。

これらの技術を組み合わせることで、出力向上に伴うビーム品質低下という従来の課題を解決し、中厚板加工における高速化と高品質化を両立しています。今回の選考では、これらの独自技術による加工領域の拡大と生産性向上が高く評価されました。市場ニーズに合致した将来性の高い技術として、今後の普及とさらなる発展が期待されています。

ご参考

ENSIS-26000を搭載したファイバーレーザーマシンREGIUS-AJeシリーズ(26kW)の商品情報は以下サイトにてご覧いただけます。

https://www.sheetmetal.amada.co.jp/lineup/laser/regius-aje_hp/regius-aje_hp.html

以上

※ 掲載の情報は予告なく変更される場合があります